

■「D-ai」の主な機能：多様な AI アシスタント機能

1. 高精度な記事校閲・音声文字起こし：煩雑な作業を効率化し、記者がよりクリエイティブな取材活動に専念できる環境をつくれます。
2. 定型記事の下書き作成：データの構造化と AI を組み合わせ、迅速な速報体制を支援します。導入企業のニーズに合わせたカスタマイズが可能です。
3. 情報収集・要約通知：Web サイトやメールから届く外部情報を自動収集し、AI が要約した情報などを即座に現場の記者やデスクへ届けます。



D-ai の利用画面。左メニュー欄に ChatGPT などの対話型 AI や各種アシスタントが並ぶ

■北海道新聞社の AI 利用指針

北海道新聞社は 2025 年 1 月に社内規定として「生成 AI の利用に関する指針」を定め、日常業務における適正利用を追求しています。編集局は「AI はあくまで補助ツールであり、全ての判断と責任は編集者が担う」ことを明記した独自の利用指針を設け、AI による執筆や外部 AI への機密情報の入力を禁止しています。「D-ai」は、指針を踏まえて開発・運用。AI 開発・コンサルチーム「D-ai Studio」は編集局のリテラシー教育の推進役としても活動しています。

■東奥日報社の AI 利用指針

東奥日報社は「D-ai」導入に当たり、報道機関としての倫理や責任を踏まえて厳格な運用を義務づける「AI 利用に関する指針」を策定し、編集現場への AI 導入の環境を整えました。社内研修で指針に基づいた適正な AI 利用について学ぶことを利用アカウント付与の条件とし、「記事校閲」「音声文字起こし」「対話型 AI」の各機能から利用を開始。リテラシーの進展に合わせて利用範囲を拡大します。取材・編集業務の補助的な作業の効率化を進め、記者が取材活動により専念できる環境をつくることで、さらなるニュース発信力の強化を目指します。

【本件に関するお問い合わせ先】

北海道新聞社 編集局 AI 開発チーム「D-ai Studio」担当：大矢・笠井
メール：d-ai@hokkaido-np.co.jp